

大都市居住高齢者の社会活動に関連する要因

身体, 心理, 社会・環境的要因から

オカモト ヒデアキ オカダ シンイチ シラサワ マサカズ
岡本 秀明* 岡田 進一^{2*} 白澤 政和^{2*}

目的 大都市に居住する高齢者の社会活動に関連する要因を, 身体, 心理, 社会・環境的な状況から総合的に検討することを目的とした。

方法 大阪市に居住する65~84歳の高齢者1,500人を, 選挙人名簿を用いて無作為に抽出した。調査は, 自記式調査票を用いた郵送調査を実施した。有効回答数771人(51.4%)のうち, 代理回答およびIADL得点が0点の者を除外したため, 分析対象者は654人となった。社会活動は, 個人活動, 社会参加・奉仕活動, 学習活動, 仕事という4側面を捉える社会活動指標を用いて測定した。分析は, 社会活動の4側面それぞれを従属変数, 基本属性, 身体, 心理, 社会・環境的な変数を独立変数としたロジスティック回帰分析を行った。

結果 ロジスティック回帰分析を行った結果, 個人活動が活発な者の特性は, 外出時のからだのつらさがない, 親しい友人や仲間の数が多い, 活動情報をよく知っている, 活動情報を教えてくれる人がいる者であった。社会参加・奉仕活動では, 地域社会への態度の得点が高い, 平穩でのんびり志向の得点が高い, 親しい友人や仲間の数が多い, 外出や活動参加への誘いがある, 技術・知識・資格がある, 中年期に地域とのかかわりがあった者であった。学習活動では, 地域社会への態度の得点が高い, 外出や活動参加への誘いがある, 活動情報をよく知っている者であった。仕事では, 変化や新しさを伴う活動的志向の得点が高い, 技術・知識・資格がある, 中年期に地域とのかかわりがあった者であった。

結論 高齢者の社会活動には, 身体, 心理, 社会・環境的な要因が幅広く関連していた。高齢者が社会活動に参加しやすい社会を構築していくためには, 地域における仲間づくりや共通の関心を持つ者同士が出会ったり共に活動したりしやすいような支援や, 地域の委員等が活動参加を適度に促すことなどが求められる。また, 個人の側も高齢期以前から地域の活動に関心を持つなどの努力が必要であろう。

Key words : 地域高齢者, 大都市, 社会活動, 社会参加, 横断研究

* 和洋女子大学家政学部

^{2*} 大阪市立大学大学院生活科学研究科
連絡先: 〒272-8533 千葉県市川市国府台 2-3-1
和洋女子大学家政学部 岡本秀明